



2023年11月14日

各位

会社名 株式会社フーバーブレイン
代表者名 代表取締役社長 興水 英行
(コード: 3927 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 石井 雅之
(TEL. 03-5210-3061)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近業績の動向等を踏まえ、2023年5月15日付で公表いたしました2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の通期連結業績予想（以下、「前回発表予想」という。）を、下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2023年5月15日発表)	百万円 3,400 ～3,700	百万円 200 ～300	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想 (B)	2,950 ～3,150	0 ～50	—	—	—
増減額 (B - A)	△450 ～△550	△200 ～△250	—	—	
増減率 (%)	△13.2 ～△14.9	— ～△83.3	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	2,338	58	53	26	5.01

2. 業績予想修正の理由

(1) 売上高

① I T ツール事業／セキュリティツール

セキュリティツール商品（仕入商材）である Cato SASE Cloud の継続受注並びに新規導入が伸びており、売上高は当第 2 四半期会計期間において四半期会計期間の過去最高を更新しております。

一方、セキュリティツール製品である当社開発セキュリティソフト関連製品については、2023 年 3 月期における半導体不足による複合機等の OA 機器商材の品不足により、販売代理店が当社セキュリティツール製品の販売に注力した結果、2023 年 3 月期の売上高は順調に推移いたしました。2024 年 3 月期においては、上述より、販売代理店の当社セキュリティツール製品に係る販売体制の強化が整ったものと見込んでいたものの、当社製品の一巡感及び品不足が解消した複合機等の OA 機器商材の販売への販売代理店の再傾注の影響が大きく、当社セキュリティツール製品の販売が想定を下回る結果となり、売上高の通期予想を修正することとしました。

② I T ツール事業／働き方改革ツール

働き方改革ツール製品「Eye “247” Work Smart Cloud」は、デジタルマーケティングによる直接販売は概ね想定通りに推移しておりますが、販売促進策として、2023 年 4 月より、チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社の「Check Point Harmony Endpoint」と共に、外部脅威対策と内部不正対策を可能にする「クリスタルプロテクション」としての販売を開始しましたが、今までとは異なる販売チャネル開拓（大手ディストリビューター企業等）、また、ターゲットエンドユーザーを中堅・大企業としたことにより、チャネル及びエンドユーザーでの製品評価に要する時間が想定より長く、「クリスタルプロテクション」の案件成立見込み時期の想定を見直し、売上高の通期予想を修正することとしました。

③ I T サービス事業／SES 事業

連結子会社である GH インテグレーション株式会社（以下、「GHI」という。）が提供する SES（技術者派遣等）事業は、同社の強みでもある韓国における IT エンジニア人材（以下、「IT 人材」という。）採用は計画どおり進んだものの日本国内における採用が進まず、また、直近 1～2 年内のコロナ禍採用社員の退職及びネットワーク系プロジェクトの終了による待機の増加が重なることとなり、売上高の通期予想を修正することとしました。

④ I T サービス事業／採用コンサルティング及び人材紹介事業

連結子会社である株式会社アド・トップ（以下、「アド・トップ」という。）が提供する採用コンサルティング及び人材紹介事業は、コロナ禍からの経済正常化に伴う求人需要が回復傾向にあるものの、PMI（注）過程による同社内の組織再編の業績に与える影響が前回発表予想時よりも大きく、売上高の通期予想を修正することとしました。

（注）PMI：M&A 成立後の「経営統合プロセス」（Post Merger Integration）

また、前回発表予想と今回修正予想の売上高中央値に対する報告セグメントの割合は、以下のとおりとなります。

項目	前回発表予想	今回修正予想	増減
売上高中央値	3,550 百万円	3,050 百万円	△500 百万円
報告セグメント	前回発表予想	今回修正予想	増減

IT ツール事業	59.0%	58.0%	△1.0%
IT サービス事業	41.0%	42.0%	1.0%
合計	100.0%	100.0%	—

(2) 営業利益

IT ツール事業及びIT サービス事業における販売費及び一般管理費の見込みに大きな変動はないものの、上述のとおりIT ツール事業において、セキュリティツール商品のCato SASE Cloudが堅調なものの、セキュリティツール製品及び働き方改革ツール等、相対的に売上高総利益率の高い製品の売上高の低迷による売上構成の変化、並びにIT サービス事業内各事業の売上高の低迷の影響による売上高総利益の低下により、営業利益の通期予想を修正することといたしました。

3. 今後の推進策

① IT ツール事業／セキュリティツール

セキュリティツール製品である当社開発セキュリティソフト関連製品については、2023年11月1日に販売を開始した「FB SAT」シリーズ等のドアロック商材による需要喚起、また2024年1月に次世代エンドポイント製品の販売開始を計画しており、既存販売代理店網の販売回復に取り組んでまいります。

セキュリティツール商品であるCato SASE Cloudについては、販売実績の拡大に加え、案件利益率向上に向け、導入・運用支援サポート体制の強化に取り組んでまいります。

② IT ツール事業／働き方改革ツール

働き方改革ツール製品「Eye “247” Work Smart Cloud」については、インサイドセールス・カスタマーサクセス活動の強化による商談増・受注増に加え、「クリスタルプロテクション」では、早急な成果ではなく、新たな販売チャンネルパートナーと共に、来期顧客予算確保に向けた戦略的活動に取り組んでまいります。

③ IT サービス事業／SES 事業

GHIの共同株主である伊藤忠テクノソリューションズ株式会社と共に、韓国IT専門大学・専門学校との提携戦略を加速し、国内IT人材採用競争を回避し、安定した人材獲得による人員増、並びにインフラ開発及びサーバー系等、より広範囲なプロジェクトへと領域を拡大し、GHI人材の稼働率向上に取り組んでまいります。

④ IT サービス事業／採用コンサルティング及び人材紹介事業

アド・トップのPMIが終了し、2023年9月度から営業利益が月次ベースで黒字化となり、今後、当社人事系ソリューションを「人事」担当者へ直接アプローチする等、既存顧客へのクロスセルによる売上高拡大に取り組んでまいります。

4. 業績目標の変更

2024年3月期通期連結業績予想の修正を踏まえ、当社が業績目標としておりました「2025年3月期 連結営業利益5億円」を変更することといたしました。

また、上述の各既存事業の推進策による成長に加え、積極的・戦略的なM&Aを実行し、グループ戦略として「ITエンジニア集団」の構築による新たな成長力の獲得を推進することとし、業績目標の指標について、M&Aから発生する償却費用及び一時的コスト等を考慮外とする「調整後連結営業利益」へと変更し、新たな業績目標を「2026年3月期 調整後連結営業利益5億円」（2023年3月期調整後連結営業利益実績85百万円）といたしました。

当該業績目標の変更等を踏まえ、2023年6月9日付公表「事業計画及び成長可能性に関する事項」の更新を行い、2023年11月中に公表する予定であります。

（注）上記の通期連結業績予想は、本日現在、入手可能な情報に基づき判断並びに予想したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上